

自動認識システム大賞 「フジサンケイ ビジネスアイ賞」

テーマ

徘徊のおそれのある認知症高齢者を 支援するQRコードシステム

技術分野：二次元シンボル

申請会社：株式会社オレンジリンクス

対象ユーザ：市区町村、介護施設、個人ユーザ

システムの概要

徘徊のおそれのある認知症患者の爪に、本人の身元情報を記録したジェルタイプのQRコードシールを貼り、本人が徘徊中に警察・消防等に保護された際に身元確認をするシステム。厚生労働省が2015年1月に策定した『新オレンジプラン』に沿ったシステム。

開発の背景

- 従来の身元確認ツールの問題点
 - ▶ GPS機器：高価であり、所持忘れが多い
 - ▶ 靴貼付かかとシール：履き忘れ有り、目立つ
 - ▶ キーホルダー：必ず持ち歩くものではない
- 上記問題点に対する改善要望
 - ▶ 常時身に付けるツールにして欲しい
 - ▶ 安価で安全なツールにして欲しい
 - ▶ スマートフォンで読み取れるツールにして欲しい



徘徊イメージ

【解決策】

QRコードが印字されたジェルタイプのシールを爪に貼って身元確認する

システムの特長

2015年8月リリース「爪Q (ツメ・キュー) システム」

●簡単に貼れる

本人の居住する市区町村名・介護施設名、連絡先電話番号等を記録した爪Qシール[®]を手・足の爪に貼る。

●簡単に読み取れる

爪Qシール[®]は、普及率60%を超えたスマートフォンの、QRコードリーダーアプリ(無料アプリ)で読み取れる。

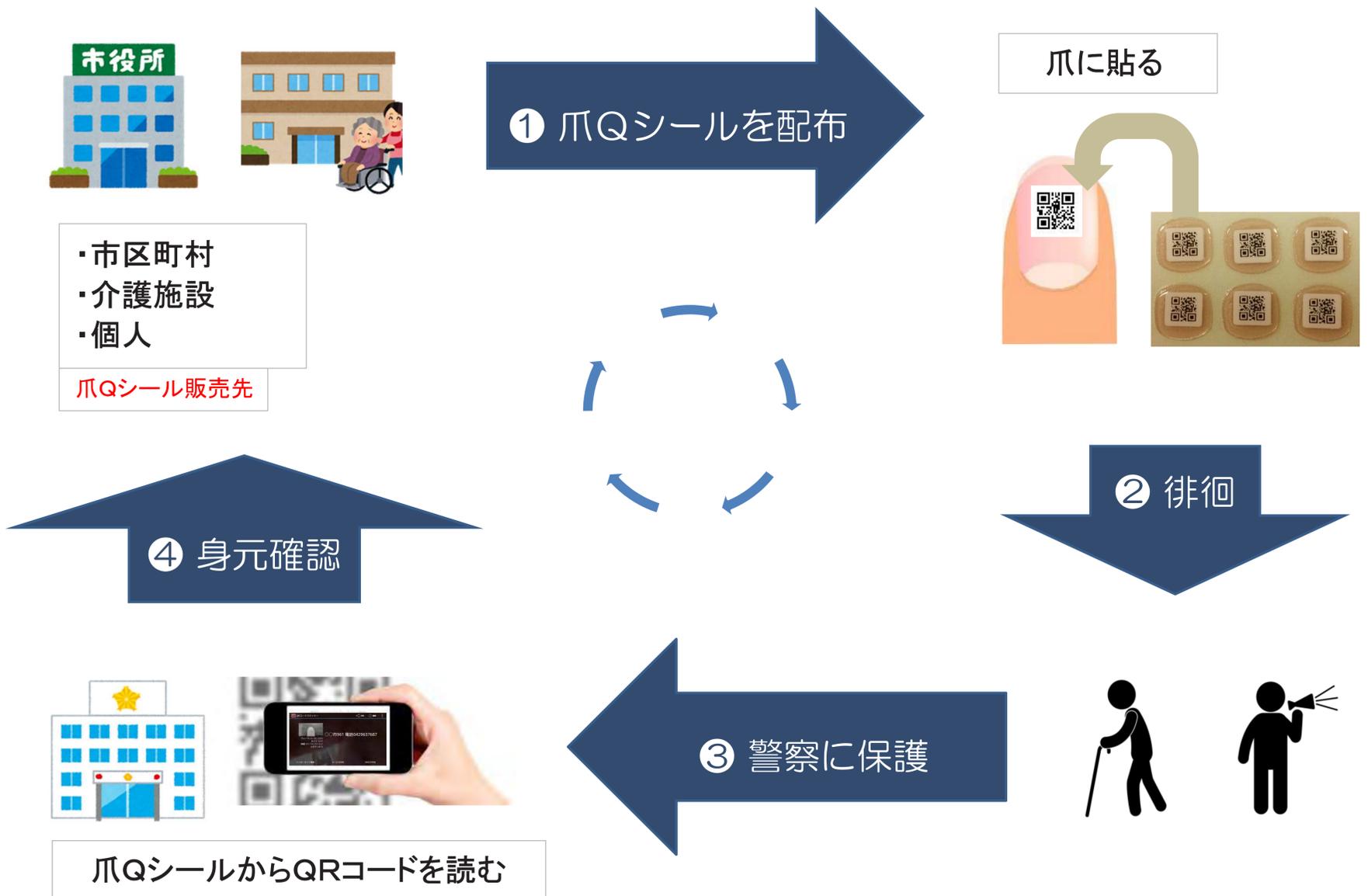
●更なる特徴

爪に貼れる小ささ / ワンタッチで貼れる / 装着期間は約2週間 / 防水性あり



読取りイメージ

爪Qシステムによる身元確認の流れ



中小企業等経営強化法の規定に基づく『経営革新計画』で承認されました

導入の効果

● 経済的導入効果

- ▶ 費用対効果の面で、爪Qシール[®]は、安価に導入できるメリットがある。

● 品質的導入効果

- ▶ 爪Qシール[®]は、QRシールとジェルシールで構成されている。爪に貼っても安全であるという『安全シート』により品質が保障されている。
- ▶ スマートフォンの普及率が60%を超えている今、無償でダウンロードできるQRコード読み取りアプリを利用できる利便性が拡大すると考えられる。



簡単に貼れる



簡単に読み取れる

応用例（今後の展望）

- ▶ 身元確認は、徘徊する認知症の患者だけに限らない。震災時において体育館等に避難している被災者の身元確認、救急で病院に搬送された患者の身元確認等にも応用できる。
- ▶ QRコードは、自動車工場や配送センターなどでの使用を念頭に開発されたツールであるが、スマートフォンの普及などにより、今後は防災・救急に役立つツールとしての利用が考えられる。

救急／災害における見守り

地震・洪水などで施設（体育館等）に避難した時・病院に搬送された時の身元確認、服薬情報が確認できる!!

